

快適・創造・イノベーション

水系1液反応硬化型シリコンエポキシ系
微弾性下地調整塗材

DIA

ダイヤ アクリスエポ

JIS A 6909 可とう形改修用仕上塗材RE

F☆☆☆☆

**水系
高耐久性
防水性
目地汚染抑制
工期短縮**

近年、改装工事の増加と共に改装仕様も多様な既存塗膜により複雑になってきています。シリコンエポキシ系エマルジョンを採用した微弾性フィラー「ダイヤアクリスエポ」を下地調整材として採用することにより、高性能な改装工事を実現できます。

「ダイヤアクリスエポ」は、シーラー不要で各種既存塗膜に幅広く適用できるほか、目地部の汚染を抑制し、強靱で伸びのある塗膜は防水性にすぐれています。

ダイヤアグレスエポ

■特長

●優れた塗膜性能

水系一液反応硬化型シリコンエポキシ系なので強靱な塗膜を有しており、耐久性と防水性に優れています。また、既存塗膜や下地への付着性にすぐれ、目地部の汚染を抑制する効果があります。

●良好な下地追従性

伸び特性に優れていますので、弾性系の既存塗膜に適用してもクラックが生じにくくなります。

●優れた目つぶし効果

下地の軽微なひび割れ等への目つぶし効果(充てん性)に優れています。

●シーラー不要で工期短縮

水系一液型でシーラー不要ですので、作業性が良く、工程・工期の短縮が図れます。

■標準施工程程

工程	材 料	調合割合	所 要 量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
共通工程	①素地調整	各改修工事仕様に基いて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
	②下地処理	ダイヤアグレスエポ 清 水 (多孔質ローラー)	16kg 0.8~1.6% 0.4~0.8%	0.3~0.5kg/m ² 0.8~1.0kg/m ²	1	—	16時間以上	中毛ローラー 多孔質ローラー
③上塗り	ダイヤパーマールシリコン 清 水	16kg 0.8~1.6%	0.25~0.35kg/m ²	2	2時間以上	—	刷毛・エアレス 中毛ローラー	
③上塗り	ダイヤセラナノン 清 水	16kg 0.8~1.6%	0.3~0.35kg/m ²	2	2時間以上	—	刷毛・エアレス 中毛ローラー	
③上塗り	ダイヤセラコートアクア 清 水	A液 B液 14kg 1kg 0.5~1.6%	0.25~0.35kg/m ²	2	2時間以上	—	刷毛・エアレス 中毛ローラー	
③上塗り	ダイヤスーパーセラアクア 清 水	A液 B液 15kg 1kg 0~1.6%	0.25~0.35kg/m ²	2	2時間以上	—	刷毛・エアレス 中毛ローラー	
水系液仕様	③中塗り	ダイヤハイパーウレタンR 清 水	16kg 0~0.5%	0.8~1.0kg/m ²	1	—	5時間以上	多孔質ローラー
	④上塗り	ダイヤハイパーウレタンR 清 水	16kg 1.0~1.3%	0.2~0.3kg/m ²	1	—	—	中毛ローラー

※他の上塗材や弾性塗材については、お問い合わせ下さい。
※所要量は既存塗膜や塗装方法により異なります。
※清水の調合割合は施工方法により異なります。

■適用下地

●塗り替え：弾性塗材、リシン、スタッコ、吹付けタイル面など

■包装単位

●ダイヤアグレスエポ……………16kg

■性能試験データ

試験項目	品名	アクセレスエポ	試験方法
付着強さ N/mm ²	標準時	1.5	JS A 6909
	浸水時	1.2	
温冷繰返し試験		異常なし	JS A 6909
ひび割れ充填性		異常なし	
可とう性		異常なし	
既存塗膜との付着性	アクリルリシン面	○	JS A 6909
	スタッコ面	○	
	アクリルエマルション系上塗り	○	
	アクリル溶剤系上塗り	○	
	弾性アクリル溶剤系上塗り	○	
	ウレタン溶剤系上塗り	○	
仕上塗材の適合性	弾性ウレタン溶剤系上塗り	○	JS A 6909
	アクリルシリコン溶剤系上塗り	○	
	ナチュラルウレタン	○	
	2液ナチュラルシリコン	○	
	パーマールウレタン	○	
	パーマールシリコン	○	
	ハイパーウレタン	○	
	セラナノン	○	
	セラコートアクア	○	
	ナチュラルフッソ	○	
スーパーセラアクア	○		

○……………可能

■施工・管理上の注意点

【塗装面の調整(新設・改修共通)】

- ①屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置を下さい。
- ②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。

【塗装面の調整(改修)】

- ①各現場の改修工事仕様に基つき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
- ②脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
- ③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して下さい。
- ④既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には、高圧水洗後ダイヤガンシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りません。成膜不良や本来の塗膜性能が発揮できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しやすくとれませんが、完全に養生を行って下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないよう注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと残りが残りバリエーションが色違いやムラの原因になります。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。
- ⑨本施工に入る前に試験塗りをし、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。

⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合等は少なめに希釈して下さい。

- ⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑬一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑭塗後下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑮フッ素や無機系などの難接着塗料処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますのでご使用の場合は最寄りの営業所へ相談下さい。
- ⑯可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。密着性の低下の原因となります。
- ⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
- ⑱上塗り/副溶剤系塗料を施工する場合は中毛ローラーによる施工は2回塗りして下さい。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようになり、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行ってください。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ①その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

(24.11月現在)24.11.200 SJ